

永遠に 受け継ぐ とわ

川崎町

町村合併70周年記念誌

70th
KAWASAKI





川崎町長 小山修作

昭和30年4月、川崎町と富岡村が合併、新制川崎町が誕生してから、70年を迎えることとなりました。

蔵王のふもと豊かで厳しい自然の中で、町を発展させるべくご尽力された先人たちに感謝しながら、未来に向けた記念すべき年を、町民の皆様と心から喜びたいと存じます。

この70年を振り返りますと、繁栄のときがあれば、流れが停滞するときもありました。

しかし、どのようなときも本町が発展し続けてきたのは、先人たちの英知とたゆまぬ努力があつたからです。

本誌では、本町のこれまでの歩みを主な出来事と写真で紹介しております。

懐かしい時代を振り返るとともに、本町の素晴らしい歴史を再認識していただけたら幸いに存じます。

これらかも、この町に生まれ、育ち、ここで暮らす人々が、夢と希望を持って将来に向かって豊かな生活が送れるよう、町民の皆様とともに努力してゆく覚悟でございます。

最後になりますが、皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げご挨拶といたします。

川崎町章



この町章は、川崎の川を三重丸で表し、円は町民円満と団結の強さを示し、町の中心部を流れ北川・前川・太郎川の三大河川を表徴したものである。

（昭和39年7月1日制定）

町民憲章

1 健康に心がけ、清潔で美しいまちをつくります。

1 互いにきまりを守り、明るく住みよいまちをつくります。

1 親愛の情をもち、みんなで助け合うまちをつくります。

1 生産にはげみ、ゆたかなまちをつくります。

1 教養を高め、すぐれた文化のまちをつくります。

（昭和55年10月1日制定）



（昭和55年10月1日制定）



（昭和55年10月1日制定）



（昭和55年10月1日制定）



（昭和55年10月1日制定）

「永遠^{とわ}に受け継ぐ」

町村合併70周年記念誌制作にあたり、町内の中学生及び高校生よりキヤツチコピーを募集しました。141件の中から、 笹間愛保さんの「永遠^{とわ}に受け継ぐ」に決定しました。

インタビュー

大好きな川崎町の自然や文化が、この先もずっと失われることなく続いていくほしい、という願いを込めてこのキヤツチコピーを考えました。私自身も次の世代につないでいきたいと思います。



大河原産業高等学校
川崎校
3年 笹間 愛保さん

川崎町

70年のあるみ

1955 1956 1957 1958 1959 1960 1961 1962 1963 1964

【昭和30年～昭和39年】

新制川崎町の誕生

昭和23年に町制が施行され、川崎村は川崎町となりました。当時の人口は1万287人、戸数は1678戸でした。昭和29年に市町村合併促進法が施行されると、川崎町と旧富岡村との合併の準備が進められ、昭和30年4月20日、川崎町と富岡村支倉地区とが合併し、新制川崎町が誕生しました。人口は1万3636人、戸数は2118戸でした。

今から136年前の明治22年、前川・今宿・小野・川内・本砂金の5カ村が合併し川崎村となり、支倉・菅生の2つの村が合併し富岡村が誕生しました。

昭和23年に町制が施行され、川崎村は川崎町となりました。当時の人口は1万287人、戸数は1678戸でした。昭和29年に市町村合併促進法が施行されると、川崎町と旧富岡村との合併の準備が進められ、昭和30年4月20日、川崎町と富岡村支倉地区とが合併し、新制川崎町が誕生しました。人口は1万3636人、戸数は2118戸でした。



昭和30年 合併調印式

昭和30年～39年 川崎町の動き



昭和39年
柴田農林高等学校川崎分校、全日制分校として認可



昭和36年 六方山の山火事

川崎町70年のあゆみ



富岡村廃庁式

1955年 昭和30年	1956年 昭和31年	1957年 昭和32年	1958年 昭和33年	1959年 昭和34年	1960年 昭和35年	1961年 昭和36年	1962年 昭和37年	1963年 昭和38年	1964年 昭和39年
3月 合併調印式(柴田地方事務所長室)	3月 合併調印式(柴田地方事務所長室)	3月 合併調印式(柴田地方事務所長室)	3月 合併調印式(柴田地方事務所長室)	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
4月 川崎町と富岡村支倉地区が合併	4月 川崎町と富岡村支倉地区が合併	4月 川崎町と富岡村支倉地区が合併	4月 川崎町と富岡村支倉地区が合併	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
川崎小学校で開庁式と記念式典挙行	川崎小学校で開庁式と記念式典挙行	川崎小学校で開庁式と記念式典挙行	川崎小学校で開庁式と記念式典挙行	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
町長職務執行者に富田廣重就任	町長職務執行者に富田廣重就任	町長職務執行者に富田廣重就任	町長職務執行者に富田廣重就任	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
合併後初議会 初代議長に戸田勇蔵就任	合併後初議会 初代議長に戸田勇蔵就任	合併後初議会 初代議長に戸田勇蔵就任	合併後初議会 初代議長に戸田勇蔵就任	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
5月 初代町長に丹野丹治就任	5月 初代町長に丹野丹治就任	5月 初代町長に丹野丹治就任	5月 初代町長に丹野丹治就任	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
5月 青根簡易水道事業給水開始	5月 青根簡易水道事業給水開始	5月 青根簡易水道事業給水開始	5月 青根簡易水道事業給水開始	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
6月 第2代議長に大宮赳夫就任	6月 第2代議長に大宮赳夫就任	6月 第2代議長に大宮赳夫就任	6月 第2代議長に大宮赳夫就任	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
7月 第3代議長に佐藤勇光就任	7月 第3代議長に佐藤勇光就任	7月 第3代議長に佐藤勇光就任	7月 第3代議長に佐藤勇光就任	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
8月 支倉地内境界変更住民投票実施	8月 支倉地内境界変更住民投票実施	8月 支倉地内境界変更住民投票実施	8月 支倉地内境界変更住民投票実施	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
9月 大字支倉境界変更調定案受諾	9月 大字支倉境界変更調定案受諾	9月 大字支倉境界変更調定案受諾	9月 大字支倉境界変更調定案受諾	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
10月 地方再建促進特別措置法の適用を受ける(昭和34年度から39年度まで)	10月 地方再建促進特別措置法の適用を受ける(昭和34年度から39年度まで)	10月 地方再建促進特別措置法の適用を受ける(昭和34年度から39年度まで)	10月 地方再建促進特別措置法の適用を受ける(昭和34年度から39年度まで)	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
11月 基石、富岡線県道告示	11月 基石、富岡線県道告示	11月 基石、富岡線県道告示	11月 基石、富岡線県道告示	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
12月 第2代議長に大宮赳夫就任	12月 第2代議長に大宮赳夫就任	12月 第2代議長に大宮赳夫就任	12月 第2代議長に大宮赳夫就任	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
1月 第2代議長に大宮赳夫就任	1月 第2代議長に大宮赳夫就任	1月 第2代議長に大宮赳夫就任	1月 第2代議長に大宮赳夫就任	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
2月 支倉字櫛挽道海など村田町に編入 面積0・54平方キロ、戸数18戸、人口133人	2月 支倉字櫛挽道海など村田町に編入 面積0・54平方キロ、戸数18戸、人口133人	2月 支倉字櫛挽道海など村田町に編入 面積0・54平方キロ、戸数18戸、人口133人	2月 支倉字櫛挽道海など村田町に編入 面積0・54平方キロ、戸数18戸、人口133人	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
3月 野上分校 川崎第二小学校として独立	3月 野上分校 川崎第二小学校として独立	3月 野上分校 川崎第二小学校として独立	3月 野上分校 川崎第二小学校として独立	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
4月 第4代議長に鳴津伊祐就任	4月 第4代議長に鳴津伊祐就任	4月 第4代議長に鳴津伊祐就任	4月 第4代議長に鳴津伊祐就任	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
5月 野上地区に集団赤痢発生、真性患者23人、保菌者123人、川崎病院に隔離	5月 野上地区に集団赤痢発生、真性患者23人、保菌者123人、川崎病院に隔離	5月 野上地区に集団赤痢発生、真性患者23人、保菌者123人、川崎病院に隔離	5月 野上地区に集団赤痢発生、真性患者23人、保菌者123人、川崎病院に隔離	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
6月 六方山から出火、風速30メートルの風に煽られて大鳥谷山に延焼、自衛隊出動	6月 六方山から出火、風速30メートルの風に煽られて大鳥谷山に延焼、自衛隊出動	6月 六方山から出火、風速30メートルの風に煽られて大鳥谷山に延焼、自衛隊出動	6月 六方山から出火、風速30メートルの風に煽られて大鳥谷山に延焼、自衛隊出動	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
7月 富岡診療所開所	7月 富岡診療所開所	7月 富岡診療所開所	7月 富岡診療所開所	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
8月 川崎町商工会設立(法律による)	8月 川崎町商工会設立(法律による)	8月 川崎町商工会設立(法律による)	8月 川崎町商工会設立(法律による)	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
9月 支倉末沢地区5戸に電気導入	9月 支倉末沢地区5戸に電気導入	9月 支倉末沢地区5戸に電気導入	9月 支倉末沢地区5戸に電気導入	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
10月 蔵王工コーライン開通	10月 蔵王工コーライン開通	10月 蔵王工コーライン開通	10月 蔵王工コーライン開通	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
11月 老人クラブ結成	11月 老人クラブ結成	11月 老人クラブ結成	11月 老人クラブ結成	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
12月 豪雪地帯の指定を受ける	12月 豪雪地帯の指定を受ける	12月 豪雪地帯の指定を受ける	12月 豪雪地帯の指定を受ける	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
1月 青根分校校舎完成	1月 青根分校校舎完成	1月 青根分校校舎完成	1月 青根分校校舎完成	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
2月 第3代町長に丹野丹治就任	2月 第3代町長に丹野丹治就任	2月 第3代町長に丹野丹治就任	2月 第3代町長に丹野丹治就任	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
3月 蔵王連峰が国定公園の指定を受ける	3月 蔵王連峰が国定公園の指定を受ける	3月 蔵王連峰が国定公園の指定を受ける	3月 蔵王連峰が国定公園の指定を受ける	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
4月 柴田農林高等学校川崎分校全日制の分校として認可	4月 柴田農林高等学校川崎分校全日制の分校として認可	4月 柴田農林高等学校川崎分校全日制の分校として認可	4月 柴田農林高等学校川崎分校全日制の分校として認可	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
5月 第6代議長に吉田富吉就任	5月 第6代議長に吉田富吉就任	5月 第6代議長に吉田富吉就任	5月 第6代議長に吉田富吉就任	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
6月 広報かわさき創刊号発行	6月 広報かわさき創刊号発行	6月 広報かわさき創刊号発行	6月 広報かわさき創刊号発行	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人
7月 名誉町民に富田廣重(第1号)を推举	7月 名誉町民に富田廣重(第1号)を推举	7月 名誉町民に富田廣重(第1号)を推举	7月 名誉町民に富田廣重(第1号)を推举	人口：13636人	人口：13810人	人口：13893人	人口：12984人	人口：13344人	人口：12541人

1965～1974

【昭和40年～昭和49年】

釜房ダムの完成や生活基盤の整備

昭和40年代に入ると釜房ダムの工事が始まり、4年の歳月を経て完成の時を迎えた。

ダムの建設により水没した面積は、約408ヘクタールで、181世帯1103人の方々が移転に協力してくれました。ダムの完成により、洪水の被害が減り、渴水時にも水不足から人々の暮らしを守ることができるようにになりました。

昭和46年 公民館完成



- 昭和40年 ●ソ連宇宙船ヴォスホート2号のレオノフ飛行士、初の宇宙遊泳
- 昭和41年 ●ビートルズ日本武道館で公演
- 昭和42年 ●中東戦争開始
- 昭和43年 ●十勝沖地震
- 昭和44年 ●東名高速道路開通
- 昭和45年 ●米、アポロ11号、人類初の月面着陸に成功
- 国産初の人工衛星「おおすみ」打ち上げ成功
- 日本万国博覧会開催
- 昭和47年 ●札幌冬季オリンピック開幕
- 日中共同声明発表(日中国交回復)
- 円変動相場制に移行、円急騰
- OPECの6ヵ国石油値上げ、石油危機深刻化
- 昭和48年 ●日韓大陸棚協定調印
- 昭和49年 ●原子力船むつ、放射能もれ事故

川崎町70年の
あゆみ

昭和48年
患者輸送バス運行開始



昭和40年 川崎小学校で完全給食開始



昭和45年 釜房ダムが完成

昭和40年～49年 川崎町の動き

年	年	人口
1965年 昭和40年	人口：12187人	
3月 町簡易水道完成7月供用		
4月 青根ゴミ焼却炉完成		
5月 畑場新庁舎完成(5月より執務)		
6月 柴田農林高等学校川崎分校東校舎増築完成		
7月 川崎第二小学校屋内体育館完成		
8月 古閑分館完成		
9月 釜房ダム工事起工		
10月 第1回町民親睦体育祭開催		
11月 支倉小学校校舎・体育館完成		
1966年 昭和41年	人口：12187人	
1月 釜房ダム完成により釜房大橋の渡橋式 大針分館完成		
2月 米の生産調整目標が決定		
3月 釜房ダム完成により釜房大橋の渡橋式 大針分館完成		
4月 仙台～川崎～山形間の県道が国道286号に昇格		
5月 本砂金小学校完全給食実施		
6月 釜房ダム落成式		
7月 仙南地域広域行政事務組合設立(加盟は47年)		
8月 支倉常長生誕400年法要(円福寺)		
9月 民俗資料家屋復元完成		
10月 墓石小学校ブール完成		
11月 民俗資料家屋復元完成		
1967年 昭和42年	人口：12046人	
1月 釜房ダム湛水式		
2月 支倉巡查駐在所新築完成		
3月 胃カメラ撮影がん検診開始		
4月 墓石分校移転		
5月 支倉小学校校舎・体育館完成		
6月 本砂金分校 本砂金小学校として独立		
7月 第4代町長に斎藤忠夫就任		
8月 名譽町民に丹野丹治(第2号)、佐藤佐之助(第3号)を推举		
9月 川崎遠刈田線県道昇格		
10月 川崎小学校小野分校・小松倉分校、支倉小学校小野分校完成		
11月 川崎農林高等学校川崎分校軟式野球部が全国大会に出場		
12月 川内小学校体育館完成		
1968年 昭和43年	人口：111177人	
1月 第7代議長に熊谷米吉就任		
2月 川崎町史編纂開始		
3月 川崎小学校小野分校・小松倉分校、支倉小学校小野分校完成		
4月 沢田分校ダム建設により廃校		
5月 墓石分校 墓石小学校として独立		
6月 第8代議長に佐藤忠光就任		
7月 降電により前川東西・古閑・立野地区の農作物に甚大な被害		
8月 墓石簡易水道給水開始		
9月 議会広報創刊号を発刊		
10月 第9代議長に吉田富吉就任		
11月 城山公園(近隣公園)計画決定		
12月 川崎中学校ブール完成		
1969年 昭和44年	人口：10968人	
1月 川崎～本砂金間のバス運行開始(仙南バス)		
2月 農村集団自動電話開通		
3月 川崎小学校給食調理室完成		
4月 川崎小学校完全給食実施		
5月 柴田農林高等学校川崎分校校舎増築完成		
6月 野上分館完成		
7月 茅石地区県道舗装完成		
8月 簡易ゴミ焼却炉完成(川内地区)		
9月 成人式をこの年から8月15日に行催		
10月 釜石小学校ブール完成		
11月 民俗資料家屋復元完成		
12月 小野町の舗装完成		
1970年 昭和45年	人口：10795人	
1月 釜房ダム湛水式		
2月 川崎町公民館完成		
3月 支倉生活改善センター完成		
4月 川崎保育所(むつみ園)開所		
5月 第5代町長に斎藤忠夫就任(2期目)		
6月 基石分館完成		
7月 過疎地域に指定		
8月 第5代町長に斎藤忠夫就任(2期目)		
9月 町勢発展基本構想策定(長期総合計画)		
1971年 昭和46年	人口：10674人	
1月 釜房ダム湛水式		
2月 川崎町公民館完成		
3月 支倉生活改善センター完成		
4月 川崎保育所(むつみ園)開所		
5月 第10代議長に植野次男就任		
6月 支倉小学校ブール完成		
7月 仙南地域広域行政事務組合大河原消防署川崎出張所設置		
8月 川崎第二小学校ブール完成		
9月 川崎町史史料編発行		
1972年 昭和47年	人口：10714人	
1月 前川分校校舎・集会室完成		
2月 立野生活改善センター完成		
3月 山村振興の指定を受ける(第1期)		
4月 柴田農林高等学校川崎分校1学級増		
5月 患者輸送バス運行開始		
6月 釜房ダム周辺自然環境保全地域の指定を受ける		
7月 川崎小学校ブール完成		
8月 本砂金分校完成		
9月 自動電話(ダイヤル)に切替		
10月 川崎町観光協会設立		
11月 青根第2簡易水道給水開始		
12月 荒羽賀生活改善センター完成		
1973年 昭和48年	人口：10699人	
1月 本砂金分校完成		
2月 釜房ダム周辺自然環境保全地域の指定を受ける		
3月 釜房ダム周辺自然環境保全地域の指定を受ける		
4月 釜房ダム周辺自然環境保全地域の指定を受ける		
5月 釜房ダム周辺自然環境保全地域の指定を受ける		
6月 釜房ダム周辺自然環境保全地域の指定を受ける		
7月 釜房ダム周辺自然環境保全地域の指定を受ける		
8月 釜房ダム周辺自然環境保全地域の指定を受ける		
9月 釜房ダム周辺自然環境保全地域の指定を受ける		
10月 釜房ダム周辺自然環境保全地域の指定を受ける		
11月 釜房ダム周辺自然環境保全地域の指定を受ける		
12月 釜房ダム周辺自然環境保全地域の指定を受ける		
1974年 昭和49年	人口：10850人	
1月 釜房ダム周辺自然環境保全地域の指定を受ける		
2月 釜房ダム周辺自然環境保全地域の指定を受ける		
3月 釜房ダム周辺自然環境保全地域の指定を受ける		
4月 釜房ダム周辺自然環境保全地域の指定を受ける		
5月 釜房ダム周辺自然環境保全地域の指定を受ける		
6月 釜房ダム周辺自然環境保全地域の指定を受ける		
7月 釜房ダム周辺自然環境保全地域の指定を受ける		
8月 釜房ダム周辺自然環境保全地域の指定を受ける		
9月 釜房ダム周辺自然環境保全地域の指定を受ける		
10月 釜房ダム周辺自然環境保全地域の指定を受ける		
11月 釜房ダム周辺自然環境保全地域の指定を受ける		
12月 釜房ダム周辺自然環境保全地域の指定を受ける		

昭和50年	●スエズ運河、8年ぶり再開
昭和51年	●ロッキード献金事件表面化、田中角栄前首相逮捕
昭和52年	●日本初の静止衛星「きく2号」打上げ
昭和53年	●北海道・有珠山34年ぶりに大噴火
昭和54年	●探検家植村直己、北極点到達
昭和55年	●新東京国際空港(成田)開港
昭和56年	●東京で先進国首脳会議(東京サミット)
昭和57年	●イラン・イラク全面戦争に突入
昭和58年	●沖縄でヤンバルクイナ発見
昭和59年	●ホテルニュージャパン火災
	●東北新幹線開業、上越新幹線開業
	●日本海中部地震
	●三宅島21年ぶりの大噴火
	●江崎グリコ社長誘拐事件発生
	●ロサンゼルスオリンピック開幕



昭和59年 B&G川崎海洋センターが完成



昭和53年 宮城県沖地震が発生



川崎町70年のあゆみ

震では、川崎町も家屋や道路、各施設などに大きな被害を受け、被害総額は4億1千万円となりました。町と地域、市民が一体となって復興が進む中、昭和56年4月、着工以来7年の歳月を経て笹谷トンネルが開通しました。このトンネルの開通により仙台と山形が最短距離で結ばれて、多くの人々が利用することになり、千年の歴史を刻む笹谷街道が新たに1ページが加わりました。

仙台と山形間を最短距離で結ぶ 笹谷トンネルが開通

昭和53年6月に発生した宮城県沖地震では、川崎町も家屋や道路、各施設などに大きな被害を受け、被害総額は4億1千万円となりました。町と地域、市民が一体となって復興が進む中、昭和56年4月、着工以来7年の歳月を経て笹谷トンネルが開通しました。このトンネルの開通により仙台と山形が最短距離で結ばれて、多くの人々が利用することになり、千年の歴史を刻む笹谷街道が新たに1ページが加わりました。

昭和56年
笹谷トンネルが開通

1975年 昭和50年	人口：10850人
1976年 昭和51年	人口：10761人
1977年 昭和52年	人口：10792人
1978年 昭和53年	人口：10792人
1979年 昭和54年	人口：10779人
1980年 昭和55年	人口：10841人
1981年 昭和56年	人口：10896人
1982年 昭和57年	人口：10989人
1983年 昭和58年	人口：11007人
1984年 昭和59年	人口：11073人

4月	下水道事業始まる
4月	川崎町史通史編発行
5月	第6代町長に斎藤忠夫就任(3期目)
5月	笹谷すじ道貫通
9月	川内小学校ブール完成
10月	川崎中学校新校舎完成
12月	川崎湖畔公園開園

昭和50年～59年 川崎町の動き

1975→1984

1985～1994

〔昭和60年～平成6年〕

国営みちのく杜の湖畔公園が開園



平成元年 国営みちのく杜の湖畔公園が開園

平成の幕開けとともに、川崎町にも新しい風が吹き始めました。平成元年には釜房ダム湖畔に、東北初の国営みちのく杜の湖畔公園が開園しました。また、平成2年の冬にはスキー場が完成し、みやぎ蔵王セントメリースキー場としてオープンしました。

高速道路と立体交差している独特なゲレンデコースが話題となり、多くのスキー客でぎわいました。これらの公園やスキー場を観光やレクリエーション施設の拠点とし、地域活性化が展開されました。



平成2年
みやぎ蔵王セントメリースキー場が完成

昭和60年～平成6年 川崎町の動き

1985年 昭和60年	人口：11152人
1月 川崎第二小学校校舎完成	
7月 釜房環境浄化センター通水開始	
8月 本砂金地区簡易水道通水	
10月 環境衛生センター（し尿処理）完成	
1986年 昭和61年	人口：11222人
3月 川崎町長老に斎藤忠夫（第1号）を推崇	
4月 第14代議長に佐々木丈作就任	
1987年 昭和62年	人口：11168人
1月 川崎保育所新設移転	
3月 本砂金集落センター完成	
4月 第15代議長に丹野昭治就任	
1988年 昭和63年	人口：11168人
1月 川崎中央商店街、青根温泉に街路灯を設置	
5月 国営みちのく杜の湖畔公園（文化と水のゾーン）が開園	
8月 東北総合体育大会山岳競技大会が北蔵王及び釜房山東壁で開催	
10月 古賀政男顕彰会（明治大学マンドリンクラブ）が来町し演奏	
11月 市町村制施行100周年記念式典挙行	
1990年 平成2年	人口：11046人
1月 音無山村広場完成	
3月 本砂金小学校校舎改築完成	
5月 川崎中央商店街、青根温泉に街路灯を設置	
8月 国営みちのく杜の湖畔公園（文化と水のゾーン）が開園	
10月 東北総合体育大会山岳競技大会が北蔵王及び釜房山東壁で開催	
11月 市町村制施行100周年記念式典挙行	
1991年 平成3年	人口：111046人
1月 町が町村自治の健全な発展を遂げた功績により全	
3月 健康福祉センター完成	
4月 国町村会会長表彰	
6月 川崎幼稚園開園	
8月 富岡幼稚園派出所完成	
10月 第1回川崎町支倉常まつり開催、墓前祭とパレード	
12月 川内小学校新体育館完成	
1992年 平成4年	人口：11109人
1月 国営みちのく杜の湖畔公園にて「皇太子殿下御成婚記念植樹」	
3月 健康福祉センター完成	
4月 国町村会会長表彰	
6月 第3回全国「みどりの愛護」のつどいが皇太子殿下を迎へ国営みちのく杜の湖畔公園で開催	
8月 第1回川崎町支倉常まつり開催、墓前祭とパレード	
10月 川崎小学校西校舎完成	
12月 国営みちのく杜の湖畔公園にて「皇太子殿下御成婚記念植樹」	
1993年 平成5年	人口：11128人
1月 町が町村自治の健全な発展を遂げた功績により全	
3月 健康福祉センター完成	
4月 国町村会会長表彰	
6月 川崎幼稚園開園	
8月 富岡幼稚園派出所完成	
10月 第1回川崎町支倉常まつり開催、墓前祭とパレード	
12月 川内小学校新体育館完成	
1994年 平成6年	人口：11112人
1月 国営みちのく杜の湖畔公園にて「皇太子殿下御成婚記念植樹」	
3月 健康福祉センター完成	
4月 国町村会会長表彰	
6月 第3回全国「みどりの愛護」のつどいが皇太子殿下を迎へ国営みちのく杜の湖畔公園で開催	
8月 第1回川崎町支倉常まつり開催、墓前祭とパレード	
10月 川崎小学校西校舎完成	
12月 国営みちのく杜の湖畔公園にて「皇太子殿下御成婚記念植樹」	

川崎町70年のあゆみ



平成4年
第3回全国「みどりの愛護」のつどい

平成3年 第1回全国縦断市民駅伝みちのく大会



平成元年 国営みちのく杜の湖畔公園が開園

昭和60年	●日航ジャンボ機墜落
昭和61年	●伊豆大島・三原山が209年ぶりに大噴火、島民全員避難
昭和63年	●世界最長の青函トンネル開業
平成元年	●東京ドームが落成
●昭和天皇逝去、皇太子殿下即位。元号「平成」に	
●消費税スタート(3%)	
平成2年	●秋山豊寛氏が日本人初宇宙飛行
●東西ドイツ統一	
●ソ連、ゴルバチョフ初代大統領就任	
●雲仙普賢岳が噴火	
平成4年	●山形新幹線「つばさ」運行開始
●スペースシャトル「エンデバー」に毛利衛氏搭乗	
平成5年	●Jリーグ開幕
●皇太子殿下と小和田雅子さんご成婚	
●北海道南西沖地震	

1995～2004

平成7年～16年 川崎町の動き

【平成7年～16年】

1995年 平成7年	人口：11066人
1月 立野地区集落センター完成	
3月 医療福祉センター「やすらぎの郷」完成	
5月 第11代町長に佐藤昭光就任	
7月 柴田農林高等学校川崎分校が柴田農林高等学校川崎校となる	

平成7年
医療福祉センター
「やすらぎの郷」が完成

平成7年、地域の保健、医療、福祉がそれぞれ連携した地域ケアシステムの拠点として医療福祉センター「やすらぎの郷」が稼働を開始しました。交流促進センター「るばばかわさき」の完成や、町民バスほんわか号の運行、また、現代版支倉常長遣欧使節団のイタリア訪問など、町民の暮らしを支える施設、サービスの充実と、国際交流の振興が進められました。平成13年には宮城国体（第56回国民体育大会）が開催され、川崎町ではゴルフ競技（夏季大会）と山岳（登はん）競技（秋季大会）が開催されました。



平成13年 町民バス「ほんわか号」が運行を開始



平成8年 交流促進センター「るばばかわさき」が完成

川崎町70年の
あゆみ



平成13年 宮城国体



平成7年
医療福祉センター
「やすらぎの郷」が完成

1996年 平成8年	人口：11104人
1月 蟹沢用水改修工事竣工	
4月 第17代議長に大山政治就任	
5月 第1回滝前不動のフジまつり開催	
6月 第1回 祝い船大会開催	
8月 青根温泉開湯450年祭開催	
10月 交流促進センター「るばばかわさき」完成	
11月 第1回 河内大橋開通式	
1997年 平成9年	人口：11185人
2月 柴田農林高等学校川崎校新校舎完成	
3月 第1回青根温泉雪あかり開催	
4月 ボートピア川崎完成	
5月 猪ノ沢地区連絡橋「ふれあい橋」完成	
6月 第1回ふれあい川崎自然塾開催	
7月 第1回ふれあい川崎自然塾開催	
8月 釜房ダム水没者移転30周年のつどい開催	
9月 川崎児童教室開設	
10月 広報かわさき創刊300号を迎える	
1998年 平成10年	人口：11226人
1月 成人式をこの年から1月に開催	
2月 柴田農林高等学校川崎校新校舎完成	
3月 第1回ボートピア川崎完成	
4月 釜房ダム水没者移転30周年のつどい開催	
5月 第1回ふれあい川崎自然塾開催	
6月 第1回ふれあい川崎自然塾開催	
7月 第1回ふれあい川崎自然塾開催	
8月 第1回ボートピア川崎完成	
9月 第1回ボートピア川崎完成	
10月 第1回ボートピア川崎完成	
11月 第1回ボートピア川崎完成	
12月 第1回ボートピア川崎完成	
1999年 平成11年	人口：11286人
1月 第1回ふれあい川崎自然塾開催	
2月 第1回ボートピア川崎完成	
3月 第1回ボートピア川崎完成	
4月 第1回ボートピア川崎完成	
5月 第1回ボートピア川崎完成	
6月 第1回ボートピア川崎完成	
7月 第1回ボートピア川崎完成	
8月 第1回ボートピア川崎完成	
9月 第1回ボートピア川崎完成	
10月 第1回ボートピア川崎完成	
11月 第1回ボートピア川崎完成	
12月 第1回ボートピア川崎完成	
2000年 平成12年	人口：11263人
1月 第1回ボートピア川崎完成	
2月 第1回ボートピア川崎完成	
3月 第1回ボートピア川崎完成	
4月 第1回ボートピア川崎完成	
5月 第1回ボートピア川崎完成	
6月 第1回ボートピア川崎完成	
7月 第1回ボートピア川崎完成	
8月 第1回ボートピア川崎完成	
9月 第1回ボートピア川崎完成	
10月 第1回ボートピア川崎完成	
11月 第1回ボートピア川崎完成	
12月 第1回ボートピア川崎完成	
2001年 平成13年	人口：11175人
1月 第1回ボートピア川崎完成	
2月 第1回ボートピア川崎完成	
3月 第1回ボートピア川崎完成	
4月 第19代議長に尾崎正人就任	
5月 笹谷分校閉校記念式典開催	
6月 第1回福祉のつどい開催	
7月 台風6号が直撃（被害甚大）	
8月 第56回国民体育大会（ゴルフ競技）開催	
9月 第56回国民体育大会（ゴルフ競技）開催	
10月 第12回「緑の都市賞」を医療福祉センター「やすらぎの郷」が受賞	
11月 第12回「緑の都市賞」を医療福祉センター「やすらぎの郷」が受賞	
12月 第1回現代版支倉常長遣欧使節団がイタリア・ローマ県サンタマリーナッラ市訪問	
2002年 平成14年	人口：11094人
1月 第19代議長に尾崎正人就任	
2月 第19代議長に植野祐丞就任	
3月 川崎幼稚園新園舎完成	
4月 青根洋館移築完成	
5月 第13代町長に寛野秀雄就任（2期目）	
6月 第1回現代版支倉常長遣欧使節団がイタリア・ローマ県サンタマリーナッラ市訪問	
7月 ワーキャンプみちのく開園	
8月 サンタマリーナッラ市の生徒が当町を訪問	
9月 寒害で農作物に甚大な被害	
10月 冷害で農作物に甚大な被害	
11月 町議会議員定数を16人と議決、次の選挙から実施	
12月 町議会議員定数を16人と議決、次の選挙から実施	
2003年 平成15年	人口：10974人
1月 第20代議長に丹野喜正就任	
2月 第20代議長に丹野喜正就任	
3月 川崎幼稚園新園舎完成	
4月 裏丁コミュニティセンター開所	
5月 第13代町長に寛野秀雄就任（2期目）	
6月 第1回現代版支倉常長遣欧使節団がイタリア・ローマ県サンタマリーナッラ市訪問	
7月 ワーキャンプみちのく開園	
8月 サンタマリーナッラ市の生徒が当町を訪問	
9月 寒害で農作物に甚大な被害	
10月 冷害で農作物に甚大な被害	
11月 町議会議員定数を16人と議決、次の選挙から実施	
12月 町議会議員定数を16人と議決、次の選挙から実施	
2004年 平成16年	人口：10877人
1月 仙南地区広域農道「コスモスライン」完成	
2月 第20代議長に丹野喜正就任	

2005~2014

〔平成17年～26年〕

イベント、PRキャラクターで

川崎町を全国発信

平成18年、東北を代表する大規模な野外音楽フェスティバル「アラバキロックフェスティバル」がエコキャンプみちのくを会場に実施されました。川内太鼓が平成18年から、また、川崎中学校吹奏楽部が平成23年から参加しています。

平成25年は、支倉常長渡航400周年にあたる年で、その偉業を称え、第20回支倉常長まつりを開催しました。また、同年、川崎町の公式PRキャラクターに「チョコえもん」を任命しました。「チョコえもん」は、町内外のさまざまイベント会場で活動し、川崎町を大きくPRしています。



平成25年
アラバキ
ロックフェスティバルのようす



平成23年
東日本大震災が発生



平成25年 9.1宮城県総合防災訓練

川崎町70年の
あゆみ

国内外の動き

- 平成17年
 - 中部国際空港(セントレア)が開港
 - 日本国際博覧会「愛・地球博」が開幕
- 平成18年
 - 第1回ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)で日本代表が初代王者
- 平成19年
 - 郵政民営化スタート
- 平成20年
 - リーマン・ブラザーズが経営破綻(リーマン・ショック)
- 平成21年
 - アメリカ合衆国、バラク・オバマ大統領就任
- 平成22年
 - ハイチで大地震発生(M7.0)死者31万人以上
 - 尖閣諸島付近で中国漁船が海上保安庁巡視船に衝突
- 平成23年
 - 東日本大震災・福島第一原子力発電所事故発生
 - 地上デジタル放送開始
 - 東京スカイツリー開業
 - 富士山が世界遺産に登録
 - 東北楽天イーグルス、パリーグ・日本シリーズ初優勝
 - 消費税が8%に引き上げ
 - 御嶽山噴火、死者58人、行方不明者7人



平成26年 国営みちのく杜の湖畔公園 里山地区が完成

常長の遺志をつぐ
川崎町観光
PRキャラクター
「チョコえもん」



- 2月 記録的な大雪による交通混乱と甚大な被害(1日の積雪量約70センチ)
- 3月 町の公式PRキャラクター「チョコえもん」を任命
- 4月 前川児童教室開設
- 6月 国営みちのく杜の湖畔公園全園開園
- 11月 青根駐在所新築移転
- 12月 青根温泉「不忘閣」が国の登録有形文化財(建築物)に登録

2014年 平成26年 人口…9525人

2013年 平成25年 人口…9680人

2月 東日本大震災による石巻市民の二次避難者受け入れにより、地域づくり総務大臣賞受賞

3月 支倉常長渡航400周年記念 大河原消防署川崎出張所新築建替え

4月 第22代議長に大浪俊憲就任

5月 茅石小学校、川内小学校、支倉小学校、前川小学校青根分校が閉校

6月 スクールバス運行開始

2012年 平成24年 人口…9845人

2月 東日本大震災による石巻市民の二次避難者受け入れにより、地域づくり総務大臣賞受賞

3月 町の公式PRキャラクター「チョコえもん」を任命

4月 前川児童教室開設

6月 支倉常長渡航400周年記念 大河原消防署川崎出張所新築建替え

7月 9・1宮城県総合防災訓練を川崎町総合運動場で開催

8月 第15代町長に小山修作就任

2011年 平成23年 人口…10046人

3月 東日本大震災が発生 日本の観測史上過去最大M9・0 川崎町で震度6強を記録(被害深刻)

5月 人口が1万人を割る(人口9993人、世帯数3264世帯)

4月 ぱびハウス営業開始
かわさきこども園開園
今宿児童教室開設

1月 レインボー川崎営業開始

2010年 平成22年 人口…10148人

4月 第21代議長に沼田善春就任

6月 岩手・宮城内陸地震が発生 M7・2 川崎町で震度5弱を記録

5月 第14代町長に佐藤昭光就任(2期目)

9月 町議会議員定数を14人と議決 次の選挙から実施

12月 川崎町長老に寛野秀雄(第2号)を推举

8月 墓石児童教室開設

2009年 平成21年 人口…10284人

5月 国営みちのく杜の湖畔公園入場者累計10000万人達成

6月 岩手・宮城内陸地震が発生 M7・2 川崎町で震度5弱を記録

4月 広報かわさき創刊400号を迎える

9月 セントメリースキー場指定管理者で実施

1月 青根公衆浴場「じゅうばの湯」が開設され、指定管理者で実施

3月 町道みちのく公園線完成

8月 町道北向釜房線完成

9月 川崎中学校体育館大規模改修、耐震工事完了

10月 合併50周年記念町民親睦体育祭開催

8月 青根温泉足湯2万所完成

9月 山村開発センターにエレベーター設置

10月 合併50周年記念町民親睦体育祭開催

平成17年～26年 川崎町の動き

2005年 平成17年 人口…10833人

2006年 平成18年 人口…10719人

2007年 平成19年 人口…10556人

2008年 平成20年 人口…10431人

2009年 平成21年 人口…10284人

2010年 平成22年 人口…10148人

2011年 平成23年 人口…10046人

2012年 平成24年 人口…9845人

2013年 平成25年 人口…9680人

2014年 平成26年 人口…9525人

2015-2025

【平成27年～令和7年】

国道286号バイパス

工事着手

平成28年、念願であった碁石・赤石間の国道286号バイパス工事の地元説明会が開催され、この年から事業がスタートしました。平成29年には、起業・移住定住支援の拠点として、「SPRING」を開設するとともに、地域のブランド化や地場産品の開発・販売・PRのために第1期生の地域おこし協力隊が誕生しています。

また、9月には「第1回レイクサイドマラソン」を開催。全国から1600名のランナーが集結し、釜房ダム周辺を快走しました。

令和2・3年は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染対策やワクチン接種の対応に追われるとともに、町民や町内企業への支援事業などを継続的に実施しました。



平成29年 SPRING開設



令和7年
国道286号バイパス工事のようす



平成31年
シルバー人材センター開所



平成29年 レイクサイドマラソン



平成29年 SPRING開設

- 平成27年 蔵王山で火山性地震が群発し噴火警報発令
- 平成28年 仙台市で第3回国際連合防災世界会議開催
- 平成29年 熊本地震(M7.3)が発生、関連死含め死者270人超
- 平成30年 将棋、藤井聰太が最多連勝記録
- 九州北部豪雨が発生、死者・行方不明42人
- 西日本豪雨が発生、死者230人超
- 北海道胆振東部地震(M6.7)が発生、死者43人
- 平成31年 天皇陛下即位、「令和」に改元
- (令和元年) 消費税10%に引き上げ
- ラグビーW杯日本大会、日本初の8強
- 台風19号(令和元年東日本台風)が発生、死者90人超
- 新型コロナウイルス感染症拡大、緊急事態宣言
- 東京オリンピック、1年遅れ無観客開催
- 新型コロナウイルスワクチン接種が全国的に進展
- ロシア、ウクライナ侵攻
- エリザベス女王死去、チャールズ3世が即位
- 安倍晋三元首相、銃撃され死亡
- WBC、日本14年ぶり優勝
- 新型コロナウイルス、「5類」移行
- 能登半島地震(M7.6)が発生、関連死含め死者590人超
- 大船渡市で大規模な山林火災発生(2,900ha焼失)
- 大阪・関西万博閉幕

国内外の動き

2015年 平成27年	人口：9,373人
3月 国土地理院の公表数値に基づき川崎町の面積が270.77km ² となる。	
4月 蔵王山で火山性地震が群発し噴火警報発令	
6月 広報かわさき創刊500号を迎える	
8月 第16代町長に小山修作就任(2期目)	
9月 台風18号による大雨で避難勧告を発令(延べ43人が避難)	
2016年 平成28年	人口：9,185人
3月 青根温泉に防災無線及びスピーカーを設置	
4月 農業委員会法の改正により、農業委員11名及び農地利用最適化推進委員10名を選任	
6月 第23代議長に真壁範幸就任	
8月 ふるさと納税で初の一日町長体験	
10月 国道286号バイパス整備工事着手	
2017年 平成29年	人口：8,993人
3月 みやぎ川崎コワーキングビレッジ「SPRING」開設	
4月 第1期生の地域おこし協力隊が就任	
6月 青根温泉「岡崎旅館」が国の登録有形文化財(建築物)に登録	
8月 ふるさと納税で初の一日町長体験	
10月 国道286号バイパス整備工事着手	
2018年 平成30年	人口：8,862人
3月 北川原山町営住宅完成	
5月 みやぎ蔵王セントメリースキー場サマーゲレンデオープン	
6月 支倉常長まつり用「新サン・ファン・ハウディス」完成	
9月 みやぎ蔵王セントメリースキー場サマーゲレンデオープン	
2019年 令和元年	人口：8,760人
2月 川崎町シルバー人材センター開所	
3月 町議会議員定数を13人と議決、次の選挙から実施	
5月 各小中学校にエアコン設置	
8月 第17代町長に小山修作就任(3期目)	
10月 台風19号(令和元年東日本台風)で避難勧告発令(102人避難)、道路等の被害総額3億円	
2020年 令和2年	人口：8,654人
1月 お試し移住施設「ENGAWA」開設	
2月 第1回新型コロナウイルス感染症対策本部会議	
4月 第24代議長に真壁範幸就任(2期目)	
5月 各種イベントの中止を決定	
7月 1人10万円の特別定額給付金受付開始	
8月 コロナ対策として、町民への商品券配布や事業者支援など、令和5年まで総額約13億5千万円の各種事業を実施	
10月 台風19号(令和元年東日本台風)で避難勧告発令(102人避難)、道路等の被害総額3億円	
2021年 令和3年	人口：8,535人
3月 前川小学校が閉校し、4月から川崎小学校と統合	
4月 青根・前川小学校間のスクールバスを川崎小学校まで延長	
5月 各小中学校に1人1台学習用タブレット端末配付	
6月 65歳以上の高齢者向け新型コロナウイルスワクチン接種開始	
7月 12歳以上の新型コロナウイルスワクチン接種開始	
11月 みちのくダム湖サミット～釜房開催	
2022年 令和4年	人口：8,330人
1月 各小中学校に防犯カメラ設置	
3月 旧前川小学校活用事業に関する契約締結	
4月 町内小中学校の給食費無償化	
8月 第18代町長に小山修作就任(4期目)	
10月 広報かわさき創刊600号を迎える	
2023年 令和5年	人口：8,210人
3月 「柴田農林高等学校川崎校」から「大河原産業高等学校川崎校」へ校名を変更	
4月 第25代議長に真壁範幸就任(3期目)	
10月 国営みのく杜の湖畔公園入場者累計2000万人達成	
2024年 令和6年	人口：8,020人
3月 みやぎ蔵王セントメリースキー場閉鎖	
9月 中原町営住宅完成	
2025年 令和7年	人口：7,833人
3月 富岡幼稚園閉園	
4月 「柴田農林高等学校川崎校」から「大河原産業高等学校川崎校」へ校名を変更	
9月 コリア・デル・リオ市からハポンさん一行が来町	
デマンド型乗合タクシー試験運行開始	

平成27年～令和7年 川崎町の動き





町村合併70周年記念誌
と
永遠に受け継ぐ

企 画
宮城県川崎町
〒989-1592 宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175-1
TEL.0224-84-2111 FAX.0224-84-6789

制 作
今野印刷株式会社